

学生氏名

安江 大輔

(第一生命保険相互会社)

主査 高木 晴夫

副査 渡辺 直登

高尾尚二郎

所属

高木 晴夫 研究室

## ホ ッ ト グ ル ー プ

### —日本企業における自律的、積極的企業内小集団の形成について—

今後、情報技術の発達の影響もあり、日本の大企業の組織が階層型からフラット型に漸次移行し、並行して社員の個人を重視する傾向が強まれば、従来のように昇進や給与だけでは、社員をモチベートすることは困難となる。また今後の環境下で多くの社員はより創造的な業務を行う必要がある。このような課題に対して、日本の大企業が取るべき行動は、今後とも社員が業務に専心できるよう社内の環境を整えることである。

本論文では、上記のように社内環境を整える場合の基本的考え方として、仕事に専心する集団であるホットグループという概念の導入を提唱している。米国で紹介されているこの概念を、日本の大企業の一般業務組織で導入するためには様々な条件があるが、個人の自律が達成されていくことも必要である。

個人の自律の達成と、ホットグループの形成という二つの課題への対応策を、本論文では、参考となる日本の大企業の事例を通して、明らかにしていった。結論ではこれを、ホットグループの醸成法として提言した。

一方、ホットグループが企業の戦力として有効に働くためには、個人とグループと企業との関係を、如何にバランスよくするかが課題であることもわかった。この課題への対応策を、結論でホットグループの運営法として提言した。